歯学教育改革コンソーシアム
CODEE
Consortium of Dental Educational Evolution for Aged Society

News Letter

vol.1
2017.6

健康長寿社会を担う歯科医学教育改革

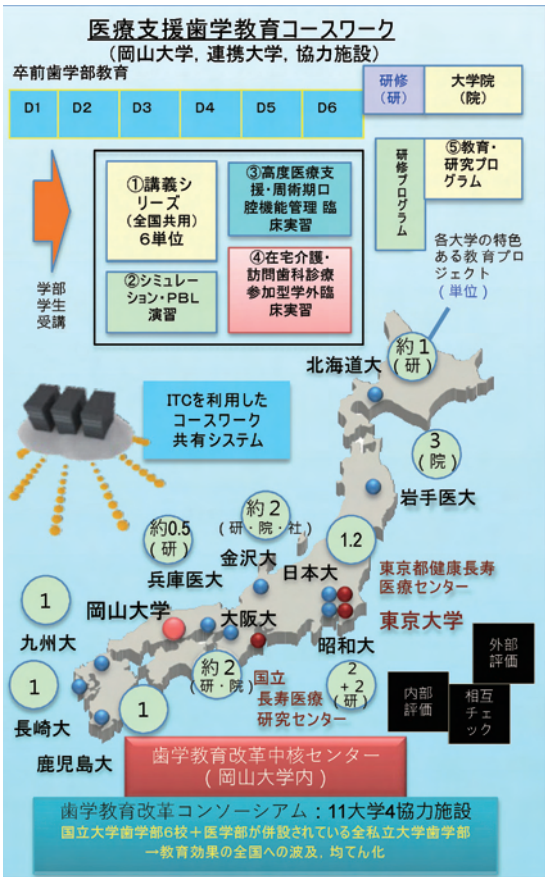
❖【連携大学の皆様へ】医療支援歯学教育コースワーク均てん化のお願い

本事業の中間評価も終わり、下記のとおり、無事良い評価（A評価）をいただきました。今後の事業終了までの目標は、これまで確立して来た医療支援歯学教育コースワークを各連携大学の実情に合わせて均てん化していくことです。

医療支援歯学教育コースワークとは、①生活習慣病予防と歯科、急性期歯科医療、在宅介護歯科医療に関する講義シリーズ、②要介護高齢者を模したシミュレーター演習や老人介護・在宅介護施設を用いた PBL 演習、③高度医療支援・周術期口腔機能管理実習、④臨床講師等を利用した在宅介護・訪問歯科診療参加型学外臨床実習の４要素です。

各連携大学におかれましては、今後の２年間でこの４要素に匹敵する教育方略を「目に見える形で」単位化していただき、受講生の数を実績値として報告していただく必要があります。つきましては、各大学の内情調査のため、申請校から調査員を派遣させていただく予定にしております。どうぞご理解、ご協力の程、お願いいたします。

特に、高度医療支援・周術期口腔機能管理実習と在宅介護・訪問歯科診療参加型学外臨床実習に関しては、すでに開講された大学もありますが、実施されていない大学もあります。岡山大学の経験をまとめて開示する予定ですので、ぜひ、それに類する実習の開講を早急にお願いいたします。



❖中間評価結果

本事業の中間評価の結果が平成 29 年 3 月 17 日に文部科学省から通知されました。

本事業に関わる皆様のご尽力の結果、総合評価 A「順調に進捗しており、現行の努力を継続することによって当初目的を達成することが可能と判断される。」というすばらしい評価をいただくことができました。

本結果の詳細は「課題解決型高度医療人材養成プログラム」の中間評価結果について（http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/iryou/1383392.htm：文部科学省ホームページ）にてご覧いただけます。

今後ともより一層の事業推進にご協力賜りますよう、何卒よろしくお願いいたします。

事業責任者
窪木 拓男

❖平成 28 年度外部評価結果

本事業の外部評価は日程の都合上、5 名の外部評価委員の先生方に、報告書を送付して評価いただきました。評価結果につきましては、本事業ホームページ（https://mdp.dent.okayama-u.ac.jp/ocw/index.php）よりご確認ください。

歯学教育改革コンソーシアム CODEE News Letter vol.1 2017.6

平成 29 年度　連携シンポジウム開催のお知らせ

平成 29 年 11 月 10 日（金）・11 日（土）に北海道大学歯学部講堂において連携シンポジウム in 札幌を開催いたします。まだアイデアの段階ではありますが、「これからの医科歯科連携教育」及び「地域包括ケアと周術期口腔管理」をテーマとした 2 つのシンポジウムを立案し演者依頼中です。目下の所、10 日（金）は 15 時に受付を開始し、初日のシンポジウム終了後、北大工学部横のファカルティハウス「エンレイソウ」にて懇親会を行い、11 日（土）はお昼のコンソーシアム委員会を含め 15 時頃には散会予定です。晩秋から初冬へかけての黄色い絨毯を敷いたような銀杏並木をご覧になり目の保養を、シンポジウムでの議論に積極的に参加していただき脳の活性化を、その後は北海道の食材を満喫していただき舌の保養と活性化をし、更なる交流を深めていただければ幸いです。今回からは、連携校以外の歯学部や歯科大学にも、参加頂ける様に広報差し上げる予定ですので、皆様の多数のご参集を心よりお待ちしております。

（北海道大学歯学部　連携シンポジウム担当　コンソーシアム委員　井上 哲）

臨床倫理シンポジウム・清水哲郎特任教授最終講義「臨床倫理の明日を拓く－本人・家族とともに考える意思決定」

東京大学にて 3 月 4 日（土）に開催されました臨床倫理シンポジウム・清水哲郎特任教授最終講義を拝聴して参りました。シンポジウムでは、医師、看護師、ソーシャルワーカー、ケアマネジャーの立場から事例に基づいた報告があり、目指すべき意思決定支援についてのディスカッションも行われました。清水教授の最終講義では、「臨床倫理の明日」について、人間関係のあり方から臨床場面における意思決定プロセスまで、わかりやすくお話しくださいました。今後は、他大学にて教鞭を執られるとのことです。今後の益々の御活躍をお祈り申し上げます。

（岡山大学医療教育統合開発センター　杉本 恭子）

文部科学省　課題解決型高度医療人材養成プログラム
健康長寿社会を担う歯科医学教育改革
－死生学や地域包括ケアモデルを導入した医科歯科連携教育体制の構築－

事業責任者／岡山大学　窪木拓男
お問い合わせ／岡山大学　武田宏明　taketa-h@okayama-u.ac.jp
URL ／ https://mdp.dent.okayama-u.ac.jp/ocw/index.php
本ニュースレターは文部科学省　課題解決型高度医療人材養成プログラムの支援を得て発行しています。
発行：2017.6

▲ HP へアクセス